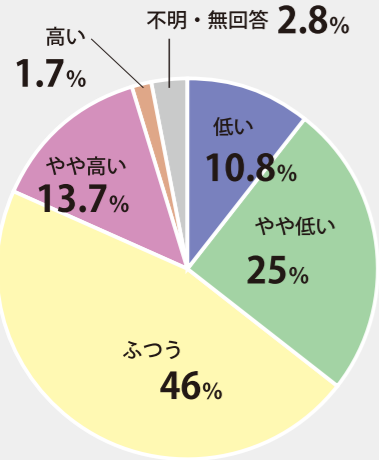


お住まいの地域における
子育ての環境や支援への満足度は？

(対象：就学前児童の保護者)



子育て世帯のホンネとは？

就学前児童・小学4年生までの児童がいる世帯を対象として行われた「大川市子ども・子育て支援にかかる市民ニーズ調査(平成25年)」では、地域における子育ての環境や支援への満足度について「満足度がやや高い」「満足度が高い」と答えた割合は、就学前児童がいる世帯で15.4%、小学生児童がいる世帯で14.9%と、2割以下にとどまる結果でした。

子育て世帯が抱えている悩みとは何でしょうか。子育ての環境や支援についての意見を紹介します。

【公園・遊び場・居場所】

- ・子ども達が安心して遊べる遊具のあるきれいな公園がほしい。
- ・放課後、子どもたちが安心して遊んだり、勉強したりできる場所がほしいです。
- ・中央公園を有効に使って、定期的なイベントを行ってほしい。

【保育料】

- ・保育料が高いと思います。
- ・現在、私立幼稚園に通っていますが、保育料の負担はかなり大きいです。
- ・子どもを預けるには働かなければなりませんが、パート収入では保育料で消えてしまいます。

【教育・保育環境、内容】

- ・3歳以上であれば保護者が働いていなくても入園できる認定こども園を早く作ってほしい。
- ・他の県・都市ではなかなか保育園などに入れないとよく聞きますが、大川では自分の希望する園に希望する年齢で入園することができるので、仕事をするものにとっては大変助かっています。

【子育て支援センター】

- ・子育て支援センターが、休日も利用できる大変助かります。
- ・子育て支援センターみたいな(気軽に話ができる)場所を増やしてほしいです。

【病児・病後児保育】

- ・市内に病児・病後児保育ができる施設がほしいです。現在利用できる施設では遠いし、申し込みや手続きが大変な上、急に頼みたい時は対応してもらえません。
- ・利用料金が高いと思います。

【医療費助成・医療環境】

- ・医療費助成を小学生まで引き延ばしてほしいです。
- ・医療費の無料化を望みます。
- ・インフルエンザの予防接種の無料化を望みます。

【情報提供】

- ・教育、保育の情報が知りたい。
- ・幼稚園や保育園の情報が少なくよくわかりません。
- ・子育てに関する情報が少ない。

(ニーズ調査：就学前児童の保護者の意見から抜粋)



特集

めざせ！ 「住みたい」まち



大川は「肩車型社会」？

昭和42年、5万3798人だった大川市の人口は減少を続け、今年2月末現在では3万6068人。総人口に65歳以上の高齢者が占める割合を示す「高齢化率」は、大川市は30.8%(平成26年4月現在。全国平均は25.6%)となっており、全国的にみても早いペースで高齢化が進んでいます。

厚生労働省は今後の高齢化の見通しについて、2050年には高齢者1人を約1人の現役世代が支える「肩車型社会」が訪れると発表していますが、大川市ではすでに高齢者1人あたり1.59人の現役世代しかいない地域もあります。

止まらない人口減少。その背景には、高齢世代を支える現役世代、とくに子育て世代が市外に転出していることがあります。誰もが「ここに住みたい」と思うまちであるために、大川市はどうあるべきなのでしょう。